

臨床研究

「人材養成プログラム TEAMS-BP『業務の改善の仕方』を用いた Door to Balloon Time の短縮効果の実証に関する研究」について

水戸協同病院で、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせは、担当者までご連絡をお願いします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2013年4月から2016年10月に水戸協同病院を受診し、ST上昇型心筋梗塞の診断で、緊急経皮的冠動脈形成術 PCI を受けた患者を抽出。

② 研究の意義・目的・方法

ST上昇型心筋梗塞 STEMI に対する Door to Balloon (DTB) time は、予後に関わる指標とされ、来院から90分以内の治療が目標とされているものの、日本ではその達成率は5割にとどまっている。

筑波大学で開発した業務改善のプログラム「TEAMS-BP」を用いて STEMI の DTB time を短縮することで、プログラムの効果の実証と、病院の診療の質を改善させることが目的である。TEAMS-BP では、作業分解シートを用いて医療者の診療プロセス1つ1つについて、目的や順番・方法を系統的に検討する。改善の前後で所要時間や関連する因子を比較検討する。主要評価項目は、来院から治療までの時間 DTB time の短縮とする。

③ 研究機関名・研究者名

主任研究者 水戸協同病院 総合診療科 五十野博基

共同研究者 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター部長 渡辺重行

筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 前野哲博

④ 保有する個人情報に関する利用目的

データ解析においては、患者のプライバシー、匿名性を保証できる方法で行う。また、研究結果を公表する際には、個人情報を特定できない形式で発表を行う。

⑤ 保有する個人情報の開示手続き

6の連絡先にご連絡いただければ開示いたします。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

茨城県厚生連総合病院 水戸協同病院

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 3-2-7

所属・担当者名：総合診療科 五十野博基

電話：029-231-2371 FAX：029-221-5137